

様式 1

令和7年度 (増築工事)

第 号

健伸館倉庫増築工事

施 工 地 名 胎内市 竹島 地内

工 期 (106 日間) 自 令和 年 月 日
至 令和 年 月 日

1. 工 事 費 総 括 表

名 称	棟	直 接 工 事 費 と 共 通 費 の 合 計 (A)	直 接 工 事 費	共 通 費		(A) の 内 訳	
				共 通 仮 設 費	諸 経 費	対 象 経 費	対 象 外 経 費
健伸館倉庫増築工事	1						
合計(工事価格)							
消費税相当額(10%)							
総合計							

工 事 の 概 要

(2 頁)

工事名称	健伸館倉庫増築工事	
建設地	胎内市 竹島 地内	
構造規模	木造	
工事種別	増築工事	
工事内容	直接仮設工事	1式
	土工事	1式
	地業工事	1式
	鉄筋工事	1式
	コンクリート工事	1式
	型枠工事	1式
	防水工事	1式
	木工事	1式
	左官工事	1式
	ガラス工事	1式
	塗装工事	1式
	内装・外装工事	1式
	屋根工事	1式
	金属製建具工事	1式
	撤去工事	1式

面積計算書

棟	階 別	区 分	摘 要			面 積 計
			梁 間 × m	桁 行 m	= 面 積 m ²	
			3.64	9.10	33.12	33.12 m ²
						m ²
						m ²
合 計						33.12 m ²
						10.02 坪

3. 直接工事費内訳書

(3 頁)

名 称	数 量 、 単 位	実 施 設 計 金 額 (A)	変 更 設 計 金 額	備 考	(A) の 内 訳	
					対 象 経 費	対 象 外 経 費
1.直接仮設工事	1 式					
2.土工事	1 式					
3.地業工事	1 式					
4.鉄筋工事	1 式					
5.コンクリート工事	1 式					
6.型枠工事	1 式					
7.防水工事	1 式					
8.木工事	1 式					
9.左官工事	1 式					
10.ガラス工事	1 式					
11.塗装工事	1 式					
12.内装・外装工事	1 式					
13.屋根工事	1 式					

名 称	数 量 、 単 位	実 施 設 計 金 額 (A)	変 更 設 計 金 額	備 考	(A) の 内 訳	
					対 象 経 費	対 象 外 経 費
14.金属製建具工事	1 式					
15.撤去工事	1 式					
直接工事費 計						

4. 共通費内訳書

(4 頁)

名 称	数 量 、 単 位	実 施 設 計 金 額 (A)	変 更 設 計 金 額	備 考	(A) の 内 訳	
					対 象 経 費	対 象 外 経 費
1.共通仮設費	1 式					
2.諸経費	1 式					
計						

[illegible]

5. 直接工事費内訳明細書

(5 頁)

[illegible][illegible]

[illegible]

[illegible][illegible]

5. 直接工事費内訳明細書

(8 頁)

[illegible][illegible]

5. 直接工事費内訳明細書

(9 頁)

名称	規格、品質	実施設計			変更設計			備考	対象外経費
		数量・単位	単価	金額	数量・単位	単価	金額		金 額
8.木工事									
土台	PGスクエア-120*120	0.32 m3							
構造材		2.9 m3							
造作材		0.13 m3							
金物	HD金物	20 ヶ所							
金物	U15	6 ヶ所							
金物	U20	16 ヶ所							
金物	K2	12 ヶ所							
金物	火打ち金物	40 ヶ所							
土台パッキン		22.4 m							
木製棚		1 式							
構造用合板	t9	5 枚							
大工手間		1 式							
釘・金物		1 式							

[illegible]

5. 直接工事費内訳明細書

(10 頁)

[illegible][illegible]

[illegible]

名称	規格、品質	実施設計			変更設計			備考	対象外経費
		数量・単位	単価	金額	数量・単位	単価	金額		金 額
13.屋根工事									
折板	t0.8	37.8 m2							
ケラバタ付フレーム		10 ヶ所							
桁方向タ付フレーム		27.3 m							
軒先見切付換気面戸		9.1 m							
止め面戸		9.1 m							
エブロン		9.1 m							
ケラバ包み	糸尺850	8.1 m							
片棟包み	糸尺850	9.3 m							
雪止め金物	L-溶融亜鉛メッキ処理	8.3 m							
バレーガード		8.3 m							
折板用軒樋	SUS吊金具とも	9.3 m							
縦樋	VP100 カラー 持金具とも SUS支	5.4 m							

[illegible]

[illegible]

6. 共通費内訳明細書

(14 頁)

[illegible][illegible]

健伸館倉庫増築工事

図 面 リ ス ト					
図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺
A-01	図面リスト	1/ -	S-01	基礎伏図・基礎詳細図	1/ 50
A-02	特記仕様書(1)	1/ -	S-02	土台伏図	1/ 50
A-03	特記仕様書(2)	1/ -	S-03	小屋梁伏図	1/ 50
A-04	概要・仕上表・敷地求積図	1/400	S-04	小屋梁伏図	1/ 50
A-05	配置図	1/200	S-05	耐力壁配置図・接合部詳細図	1/100
A-06	平面図	1/ 50			
A-07	立面図	1/100			
A-08	断面図	1/100			
A-09	断面詳細図	1/ 30			
A-10	建具表	1/ -			
A-11	撤去計画図	1/200			

健伸館倉庫増築工事設計図

仕 様 書

I 共通仕様

1. 本共通仕様及び特記仕様に記載されてない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」（以下「標仕」という。）による。

2. 標仕に用いられている用語を次のとおり読み替える。

- (1)「契約書」を「新潟県財務規則(昭和57年3月1日新潟県規則第10号)別記(第78条関係)建設工事請負基準約款」(以下「約款」という。)に読み替える。
- (2)「監督職員」を「監督員」に読み替える。
- (3)「特記仕様書」を「特記仕様」に読み替える。

3. 次の各号に該当する標仕の項目について、標仕の規定を別表に置き換えて適用する。

- | | | | | | |
|-----|----|--------|----|------|-------------------------|
| (1) | 1章 | 各章共通事項 | 1節 | 共通事項 | 1.1.2 用語の定義の(ア)、(セ)、(ナ) |
| (2) | " | | | | 1.4.2 材料の品質の(1)及び(2) |
| (3) | " | | | | 1.4.4材料の検査等の(1) |
| (4) | " | | | | 1.6.1工事検査の(2)及び(3) |

4. 次に掲げる標仕の規定は、適用しない。

- 1章 1.1.2 用語の定義の(二)
" 1.6.2 技術検査

別 表 (建築工事)

号	項 目	置 き 換 え 後 の 構 仕 の 規 定
	1 章 各章共通事項 1 節 共通事項	
(1)	1.1.2 用語の定義	(ア)「監督員」とは、約款第10条に基づき受注者に通知された者をいう。 (セ)「書面」とは発行年月日及び氏名が記載された文書又は新潟県CALSシステム上で電子決裁処理された電磁的記録をいう。 (ナ)「工事検査」とは、約款に基づく次の各事項の確認をするために発注者又は検査職員が行う検査をいい、工事の施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえの検査(ただし、②に係る検査を除く。)を含む。 ①工事の完成(約款第32条) ②部分払の請求に係る出来形部分又は部分払指定工事材料等(約款第38条) ③部分引渡しの指定部分に係る工事の完成(約款第39条) ④契約の解除時における出来形部分(約款第48条) ⑤必要があると認めたときの臨時検査(約款第50条)
(2)	1.4.2 材料の品質等	(1) 使用する材料は「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(契約時の最新版)」の名簿に記載されている品目については、当該名簿に記載されている材料又は製造所の製品とするほか、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、新品とする。ただし、設計図書に定めのある場合は、この限りでない。 なお、「新品」とは、品質及び性能が製造所から出荷された状態であるものを指し、製造者による使用期限等の定めがある場合を除き、製造後一定期間内であることを条件とするものではない。 (2) 使用する材料が、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を、監督員に提出する。 ただし、設計図書に定めるJIS又はJASの材料で、JIS又はJASのマーク表示のあるものを使用する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合(次の(7)から(9)のいずれかに該当する材料を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受けたとみなすことができる。))は、この限りでない。 (7) 建築基準法その他の認定品で、マーク等の確認ができる材料 (8) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿に記載されている材料又は製造所の製品(特記で構仕の規定に基づく品質及び性能以外を規定した場合を除く。) (9) 特記により指定された材料又は製造者の製品
(3)	1.4.4 材料の検査等	(1) 工事現場に搬入した材料は、種別ごとに監督員の検査を受ける。 ただし、次の(7)若しくは(9)に該当する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 (7) 工事完成検査時又は工事写真で、JIS若しくはJASのマークを確認できる場合 (8) 建築基準法その他の認定品と指定された材料で、工事完成検査時又は、工事写真で品質、性能を証明するマーク等を確認できる場合
(4)	1.6.1 工事検査	(2) 約款に基づく部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。 (3) (1)の通知又は(2)の請求に基づく検査並びに約款第48条及び第50条に規定する検査は、発注者から通知された検査日を受ける

Ⅱ 特記仕様

- 項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。
2. 特記事項は、◎印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
◎印と◎印の付いた場合は、共に適用する。
3. 特記事項に記載の()内の表示番号は、標仕の当該項目、当該図または当該表を示す。
なお、(参考)は標仕の「各部配施 参考図」を表す。
4. 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また()内は製品名を示す。

項目	特記事項																																				
① 工事実績情報サービス(CORINS)への登録	※請負工事費500万円以上の場合は登録する。(1.1.4)																																				
2 概成工期	※無し ・有(工期 令和 年 月 日)(1.2.1)																																				
③ 品質計画等	建築基準法に基づき指定する条件(1.2.2)																																				
4 工事の記録等	地区の区分に応じた風速(V_o (m/sec)) ・ 30 ・ 32 ・ 地表面粗度区分 ・ I ・ II ・ III ・ IV ・ 多雪地域の指定 積雪区分 建造令第1455号 別表(30) 契約書に基づく履行報告に当たり、報告に用いる書式等は「工事運行マニュアル(新潟県土木部都市局営繕課)」による。(1.2.4)																																				
⑤ 電気保安技術者	※要(1.3.3)																																				
⑥ 発生材の処理等	2.4追加特記 7「発生材の処理等」による。(1.3.8)																																				
7 特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定工法による。																																				
⑧ 技能士	(1.5.2)																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>適用工事種別</th><th>技能検定の職種</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄筋工事</td><td>・鉄筋施工(鉄筋組立て作業)</td></tr> <tr> <td>コンクリート工事</td><td>・型枠施工</td></tr> <tr> <td>鉄骨工事</td><td>・とび</td></tr> <tr> <td>ブロック・ALC・木工事</td><td>・ブロック建築 ・ALCパネル施工</td></tr> <tr> <td>防水工事</td><td>・防水施工(・アスファルト防水工事業 ・塗膜防水工事業)</td></tr> <tr> <td></td><td>・合成ゴム系シート防水工事業 ・シーリング防水工事業)</td></tr> <tr> <td>石工事</td><td>・石材施工(石張り作業)</td></tr> <tr> <td>タイル工事</td><td>・タイル張り</td></tr> <tr> <td>木工事</td><td>・建築大工</td></tr> <tr> <td>屋根及びとい工事</td><td>・建築板金(内外装板金作業)</td></tr> <tr> <td>金属工事</td><td>・内装仕上げ施工(鋼製下地工事業)</td></tr> <tr> <td>左官工事</td><td>・左官</td></tr> <tr> <td>建具工事</td><td>・サッシ施工 ・ガラス施工 ・自動ドア施工</td></tr> <tr> <td>カーテンウォール工事</td><td>・カーテンウォール施工(PC) ・サッシ施工 ・ガラス施工</td></tr> <tr> <td>塗装工事</td><td>・塗装(建築塗装作業)</td></tr> <tr> <td>内装工事</td><td>・内装仕上げ施工(・フラスコ系床仕上げ工事業 ・ボード仕上げ工事業) ・表装(壁装作業)</td></tr> <tr> <td>植栽工事</td><td>・造園</td></tr> </tbody> </table> ※これにより難しい場合は監督員と協議する。	適用工事種別	技能検定の職種	鉄筋工事	・鉄筋施工(鉄筋組立て作業)	コンクリート工事	・型枠施工	鉄骨工事	・とび	ブロック・ALC・木工事	・ブロック建築 ・ALCパネル施工	防水工事	・防水施工(・アスファルト防水工事業 ・塗膜防水工事業)		・合成ゴム系シート防水工事業 ・シーリング防水工事業)	石工事	・石材施工(石張り作業)	タイル工事	・タイル張り	木工事	・建築大工	屋根及びとい工事	・建築板金(内外装板金作業)	金属工事	・内装仕上げ施工(鋼製下地工事業)	左官工事	・左官	建具工事	・サッシ施工 ・ガラス施工 ・自動ドア施工	カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工(PC) ・サッシ施工 ・ガラス施工	塗装工事	・塗装(建築塗装作業)	内装工事	・内装仕上げ施工(・フラスコ系床仕上げ工事業 ・ボード仕上げ工事業) ・表装(壁装作業)	植栽工事	・造園
適用工事種別	技能検定の職種																																				
鉄筋工事	・鉄筋施工(鉄筋組立て作業)																																				
コンクリート工事	・型枠施工																																				
鉄骨工事	・とび																																				
ブロック・ALC・木工事	・ブロック建築 ・ALCパネル施工																																				
防水工事	・防水施工(・アスファルト防水工事業 ・塗膜防水工事業)																																				
	・合成ゴム系シート防水工事業 ・シーリング防水工事業)																																				
石工事	・石材施工(石張り作業)																																				
タイル工事	・タイル張り																																				
木工事	・建築大工																																				
屋根及びとい工事	・建築板金(内外装板金作業)																																				
金属工事	・内装仕上げ施工(鋼製下地工事業)																																				
左官工事	・左官																																				
建具工事	・サッシ施工 ・ガラス施工 ・自動ドア施工																																				
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工(PC) ・サッシ施工 ・ガラス施工																																				
塗装工事	・塗装(建築塗装作業)																																				
内装工事	・内装仕上げ施工(・フラスコ系床仕上げ工事業 ・ボード仕上げ工事業) ・表装(壁装作業)																																				
植栽工事	・造園																																				
9 見本施工	※実施する(1.5.5)																																				
10 化学物質の濃度測定																																					
⑪ 完成図等	次のものを作成し提出する。なお、作成方法・部数等は監督員の指示による。 ・提出部数等(・A3部・CADデータ) ・案内図及び配置図 ・平面図 ・立面図 ・断面図(1.7.1~1.7.3) ・仕上表 ・建物の保全に関する説明書(取扱説明書を含む)。 ・その他監督員が指示した図面																																				
⑫ 施工図等の取扱	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとす。																																				
⑬ 工事完成写真	工事履行後、整理のうえ監督員に提出する。提出部数 部 工事完成写真は、着手前の敷地全景(敷地の位置は朱線で記入)、外部全景4面、内部主要各室、屋外施設その他監督員が必要と認め指示した箇所等とする。																																				
14 特別完成写真	写真専門業者の撮影したカラー写真 部提出する。(ネガ又は電子データ共)大ささ ※キャビネ ・半紙 ・電子データ(2.0Dpi/inch)																																				
⑮ 工事施工状況写真	工事施工状況写真の撮影は、工事に係る材料、施工及び品質管理の状況が確認できるように行うものとし、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領(令和5年版)」による工事写真撮影ガイドブック(令和5年版)」を参考とする。 提出部数 部 印刷物若しくは電子データ(DVD等のメディア)で提出する。																																				
16 設備工事との取合い	2.4追加特記 6「工事区分表」による。																																				
② 仮設工事	1 監督員事務所等 ・監督員事務所 ・10 ・20 ・35 ・65 ・㎡程度を設ける。(2.3.1) ・仮設事務所の中に監督員用空間を㎡程度確保する。 ・監督員が使用できる備品として、下記のものを工事期間中現場に用意し、貸与する。 ・保護帽 ケ ・雨具 着 ・長靴 足 ・安全帯 組 2 工事用水 構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる(※有償 ・無償) 3 工事用電力 構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる(※有償 ・無償) ④ 仮設建物等 現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 ⑤ 足場																																				
③ 土工	① 埋戻し及び盛土 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 (3.2.3)(表3.2.1) ② 建設発生土の処理 ・構内指示の場所(・敷き出し ・堆積) (3.2.5) ・構外搬出適切処理(指定場所:) ・処分地未特定のため、構内仮置きとし契約後変更とする																																				
④ 地業	④ 砂利地業 ※再生クラッシャーラン ・切込み砂利及び切込み碎石 (4.6.2) ⑤ 床下防湿層 施工箇所 ※建物内の土間及び土間コンクリート下(ビッドを除く) (4.6.5) ・図示による																																				

1鉄筋の種類

5鉄筋工事

2鉄筋の継手及び定着

3鉄筋の最少かぶり厚さ

4帯筋

5最上階柱頭補強

6壁開口部の補強

7梁貫通孔の補強形式

8圧接完了後の抜取試験

9機械式継手

10溶接継手

1普通コンクリートの設計基準強度

2レディミクストコンクリートの種類

3セメントの種類

4骨材の品質

5混和材料の種類

6無筋コンクリート

7型枠材料

8コンクリート躯体表面の処理

9コンクリート打直し仕上げ

9防水工事

6防水の施工

種類

呼び径

備考

SD345

SD295

D10D13

異形鉄筋

異形鉄筋

呼び名19mm以上の柱、梁の主筋

ガス圧接

重ね継手

継手位置

各部配筋参考図による

図示

機械式定着工法の適用

適用箇所

種類

図示

最小かぶり厚さは目地底から算定する

耐久性上不利な箇所

塩害等を受けるおそれのある部分等

最小かぶり厚さは下表による

施工箇所

表5.3.6の値に加える寸法

mm

※H形

口は除く

※行う

行わない

一般壁

※A形

※B形

図示

耐震壁

※図示

※H形

※MH形

※M形

既製品

建築基準法による指定又は認定を受けたもの

※超音波探傷試験

引張試験

適用箇所

※図示

適用箇所

※図示

設計基準強度

Fc

N/mm2

施工箇所

スランプ

21

基礎

18

※24

※18

※構造体コンクリート

免注強度=設計基準強度

Fc

+構造体強度補正值

S

※I類

※II類

6.2.1

表6.2.1

※普通ポルトランドセメント又は高炉セメントのA種

6.3.1

6.3.2

表6.3.1

高炉セメントB種

普通ポルトランドの品質は

JIS R 5210に示された規定の他

次の規定の全てに適合するものとする

ただし

無筋コンクリートに用いる場合を除く

水和熱

7d

352 J/g以下

28d

402 J/g以下

アルカリシリカ反応性による区分

6.3.1

6.5.4

※A

※B

※コンクリート中のアルカリ総量

Rt

≦3.0kg/m3以下

※混和剤

※混和材

6.3.1

※下記のコンクリートは無筋コンクリートとして扱う

6.14.1

配管埋設用コンクリート

防水層保護コンクリート

捨てコンクリート

側溝類コンクリート

裏込めコンクリート

外部に面するコンクリート打直し仕上げ

仕上塗材

塗装等の仕上げを行う場合を含む

の打直し厚さ

※20mm

図示

6.8.1

ひび割れ誘発目地

※図示

監督員の指示による

外装材付後張り面の躯体表面の処理

6.8.3

11.3.5

15.3.4

MCR工法又は

15.3.4

4による目荒らし工法とする

なお

目荒らし工法の場合は

モルタルの接着に適した粗面に仕上げ工法を

1.2「施工計画」による品質計画で定める

また

粗面の状態は

監督員の承諾を受ける

適用範囲は

11章タイル工事

3コンクリート素地面の処理による

コンクリートの増打ち厚さ

※20mm

厚さは合板の厚さとする

表6.2.4

種類

コンクリートの仕上げ面

厚さ

施工箇所

※A種

面うち

面と同一

※12mm

※15mm

※B種

面うち

面と同一

※12mm

※15mm

※C種

※12mm

下表以外は標仕9.7.1による

9.7.2

表9.7.1

施工箇所

シーリング材の種類

記号

サッシ廻り

MS-2

接着性試験

9.7.5

※簡易接着性試験

引張接着性試験

施工部位

ただし試験成績書を監督員に提出し

承諾を得た場合は試験を省略できる

※防水工事は

以下のいずれかの施工業者

元請業者又は一次下請業者に限る

による施工とする

新潟県内に主たる事業所を置く事業者であり

かつ以下のいずれかの資格を有する者が所属している事業者

なお

当該資格を有する者が本工事の施工に関与することとする

契約後

証する資料の写しを提出し

監督員の確認を受けること

建築仕上げ改修施工管理技術者

一財

建築保全センター

防水施工管理技術者

I種

一社

全国防水工事業協会

登録防水基幹技能者

一社

全国防水工事業協会

新潟県防水工事業協同組合員

7 防水保証

・提出しない

※「受注者」「一次下請業者」「補償団体・損保会社又は新潟県防水工事事業協同組合」と3者連名の保証書を提出する。ただしこれにより難い場合は監督員と協議すること。

工 法 種 別	施 工 箇 所	保 証 期 間
・工法		10年間
・工法		10年間
・工法		10年間

※保証書の提出部数 正本1部

① 表面仕上げ

(12.1.4)(表12.1.1)(表12.1.2)

表面仕上りの種別	適用箇所
機械加工	A種 B種 C種 構造材 造作材
手加工	H-A種 H-B種 H-C種

② 製材

(12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)(表12.2.1)(表12.2.2)

○「製材の日本農林規格」による地下用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材質の品質
胴縁	杉	図示	※2級	・	図示	15%以下	
			※2級	・			
			※2級	・			

○「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材質の品質
見え掛り面	杉	図示	※1小節以上	・	図示	15%以下	
見え掛り面以外	杉	図示	※1小節以上	・	図示	15%以下	

・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	材質の品質
			※1等	・	※10%以下	
			※1等	・	※10%以下	
			※1等	・	※10%以下	

・「製材の日本農林規格」以外の製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	造作材の材質の品質	防虫処理	含水率
			() 造作材の場合 (※A種・B種)	・適用する ・適用しない	
			() 造作材の場合 (※A種・B種)	・適用する ・適用しない	

③ 合板等

(12.2.1)

・「合板の日本農林規格」による普通合板

施工箇所	品名	厚さ(mm)	接合の程度	板面の品質	単板の樹種名
		※5.5	※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 針葉樹 ※C-D以上	・1等 ・
		※5.5	※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 針葉樹 ※C-D以上	・1等 ・

○「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所	品名	厚さ(mm)	接合の程度	等級	板面の品質	単板の樹種名	保存処理	防虫処理の適用	強度等級
耐震壁	普通合板	※12	※1類 ・特類	※2級以上 ・1級	C-D	※C-D以上 ・	防腐防蟻	○適用する ・適用しない	○指定する(1級) ・指定しない
		※12	※1類 ・特類	※2級以上 ・1級		※C-D以上 ・		・適用する ・適用しない	・指定する() ・指定しない
		※12	※1類 ・特類	※2級以上 ・1級		※C-D以上 ・		・適用する ・適用しない	・指定する() ・指定しない

⑦ 接着剤

ホルムアルデヒドの放散量

※規制対象外

(12.2.2)(12.2.3)

⑧ 防腐・防蟻処理

・防腐、防蟻処理を省略できるが樹種による製材

適用部位：()

(12.3.1)(12.3.2)

・薬剤の加圧注入

適用部材	保存処理性能区分
土台	・K2 ○K3・K4
	・K2・K3・K4
	・K2・K3・K4

・薬剤の接着材への混入

適用部位()

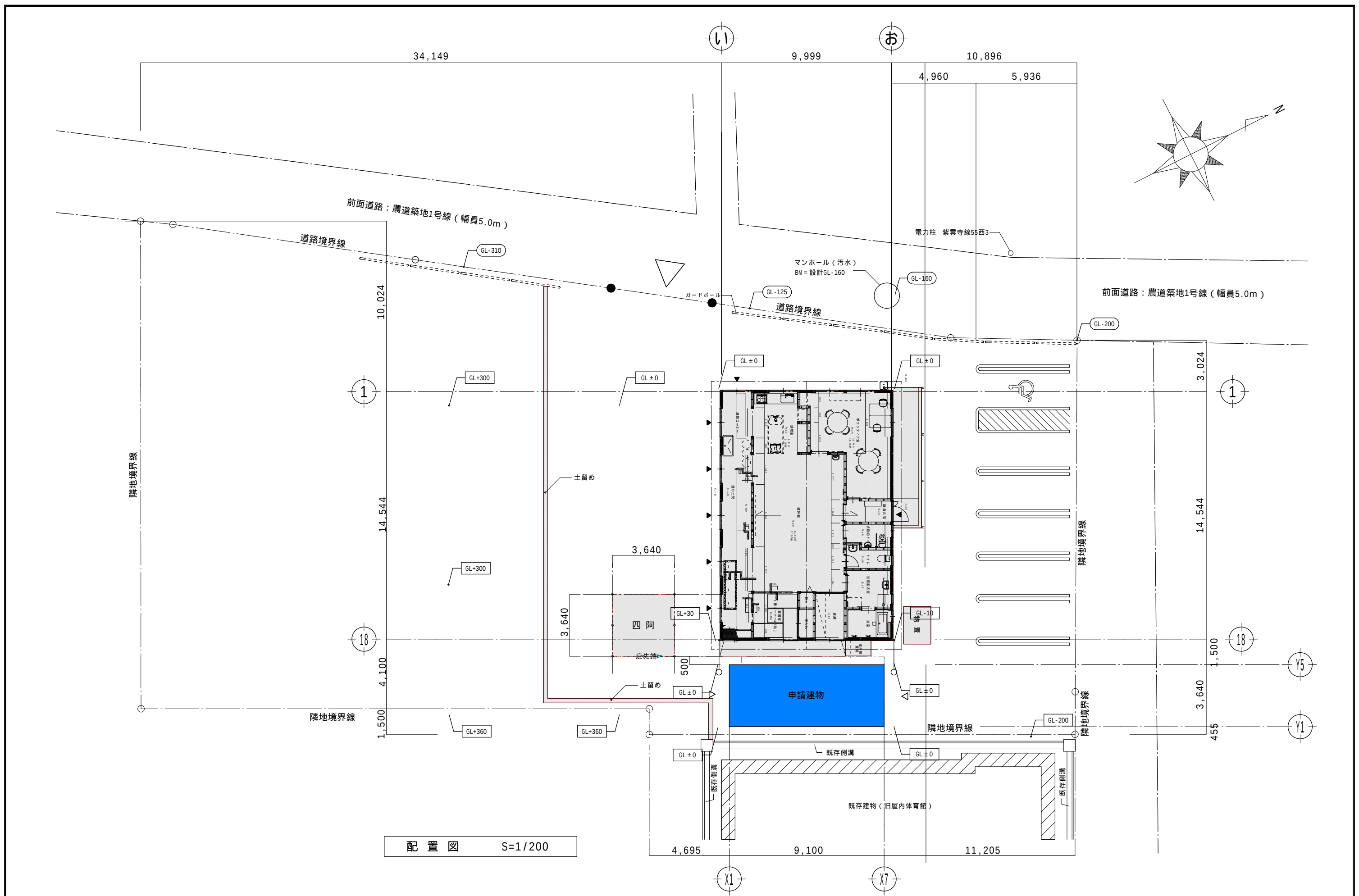
○防蟻・防虫処理

適用部位(GL+1,000迄の柱 防蟻防虫)

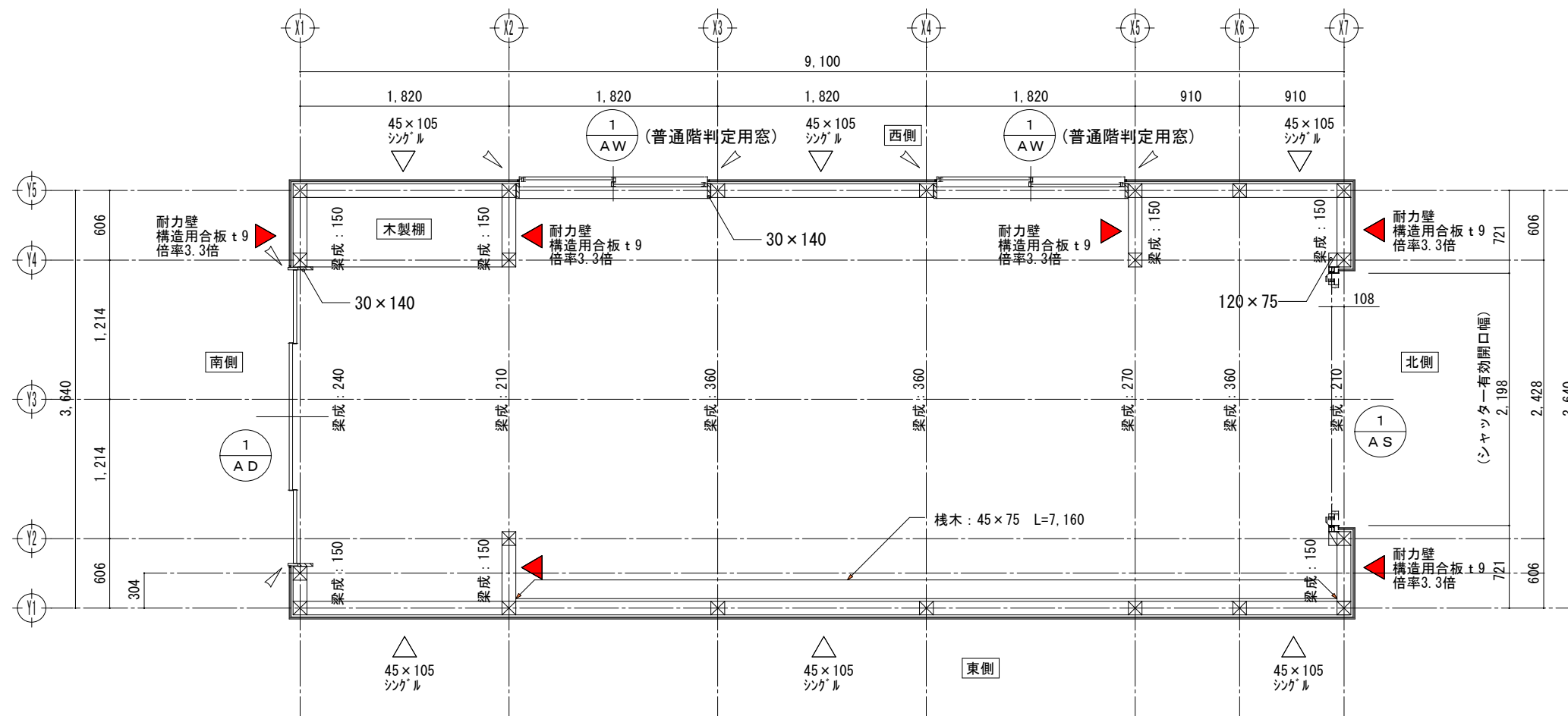
胎内市役所 地域整備課 新潟県胎内市新和町 2番10号		 胎内市 新潟県胎内市新和町 2 番 1 0 号							工事名称 健伸館倉庫増築工事	縮 尺 1/ - (A3)	図面番号 A-02
									図面名称 建築工事特記仕様書 (1)	2025. 10	

⑬ 屋根及び びとい工事	① 長尺金属板葺	<table><tr><th colspan="3">(13. 2. 2) (13. 2. 3) (表13. 2. 1)</th></tr><tr><th>屋根葺形式</th><th>長尺金属板の種類</th><th>板厚 (mm)</th></tr><tr><td></td><td>※塗装溶融55%7%ミニム亜鉛合金めつき銅板</td><td>※0.4</td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td></tr></table>	(13. 2. 2) (13. 2. 3) (表13. 2. 1)			屋根葺形式	長尺金属板の種類	板厚 (mm)		※塗装溶融55%7%ミニム亜鉛合金めつき銅板	※0.4		・	・		・	・	⑤ 網戸	防虫網 網の種類 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製 形 式 ㊦外部可動式 ・固定式 ・図示	⑫ せっこうボード その他のボード張り	<table><tr><th colspan="3">(19. 7. 2) (表19. 7. 1)</th></tr><tr><th>種 類</th><th>JISの記号</th><th>厚さ (mm) ・規格等</th></tr><tr><td>・硬質木毛セメント板</td><td>H W</td><td>・15 ・20 ・25</td></tr><tr><td>・普通木毛セメント板</td><td>N W</td><td>・15 ・20 ・25</td></tr><tr><td>・けい酸カルシウム板</td><td>O. 8 F K</td><td>・タイプ2(無石棉)</td></tr><tr><td>・ロックウール化粧吸音板</td><td>D R</td><td>※フラットタイプ(※9.0 ・12.0 ・ ・凹凸タイプ(※12.0 ・15.0) (個)不燃)</td></tr><tr><td>・せっこうボード</td><td>G B - R</td><td>・9.5 (準不燃) ㊦2.5 (不燃)</td></tr><tr><td>・不燃積層せっこうボード</td><td>G B - N C</td><td>9.5 (不燃) ・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバッチ模様)</td></tr><tr><td>・シェンゲン せっこうボード</td><td>G B - S</td><td>・9.5 (準不燃) ・12.5 (準不燃)</td></tr><tr><td>・強化せっこうボード</td><td>G B - F</td><td>・12.5 (不燃) ・15.0 (不燃)</td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table>	(19. 7. 2) (表19. 7. 1)			種 類	JISの記号	厚さ (mm) ・規格等	・硬質木毛セメント板	H W	・15 ・20 ・25	・普通木毛セメント板	N W	・15 ・20 ・25	・けい酸カルシウム板	O. 8 F K	・タイプ2(無石棉)	・ロックウール化粧吸音板	D R	※フラットタイプ(※9.0 ・12.0 ・ ・凹凸タイプ(※12.0 ・15.0) (個)不燃)	・せっこうボード	G B - R	・9.5 (準不燃) ㊦2.5 (不燃)	・不燃積層せっこうボード	G B - N C	9.5 (不燃) ・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバッチ模様)	・シェンゲン せっこうボード	G B - S	・9.5 (準不燃) ・12.5 (準不燃)	・強化せっこうボード	G B - F	・12.5 (不燃) ・15.0 (不燃)	・			22 舗装工事	5 路盤材料 路盤の厚さ ・ mm (22. 2. 3) 路盤材料 ※再生グラツヤラン(RC-40) ・7%ファルト再生グラツヤラン(ARC-40) (22. 3. 3) (表22. 3. 1) ・グラツヤラン(C-40) ・グラツヤラン鉄鋼スラグ(CS-40) ・粒度調整砕石 ※行方 ・行わない (22. 3. 5)	6 路盤の締固め度試験	7 アスファルト舗装 再生アスファルトの種類 ・60～80 ・80～100 (22. 4. 2) 加熱アスファルト混合物等(表層)の種類 (22. 4. 4) ・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13) ※密粒度アスファルト混合物(13F) アスファルト混合物等の抽出試験 ・行方 ※行わない (22. 4. 6)	8 コンクリート舗装 コンクリートの種類 ※普通コンクリート ・ (22. 5. 3) (表22. 5. 1)	24 追加特記	7 発生材の処理等 工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとして積算している。	⑤ 建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。	⑥ 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。	⑦ 協議について 建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。
(13. 2. 2) (13. 2. 3) (表13. 2. 1)																																																																
屋根葺形式	長尺金属板の種類	板厚 (mm)																																																														
	※塗装溶融55%7%ミニム亜鉛合金めつき銅板	※0.4																																																														
	・	・																																																														
	・	・																																																														
(19. 7. 2) (表19. 7. 1)																																																																
種 類	JISの記号	厚さ (mm) ・規格等																																																														
・硬質木毛セメント板	H W	・15 ・20 ・25																																																														
・普通木毛セメント板	N W	・15 ・20 ・25																																																														
・けい酸カルシウム板	O. 8 F K	・タイプ2(無石棉)																																																														
・ロックウール化粧吸音板	D R	※フラットタイプ(※9.0 ・12.0 ・ ・凹凸タイプ(※12.0 ・15.0) (個)不燃)																																																														
・せっこうボード	G B - R	・9.5 (準不燃) ㊦2.5 (不燃)																																																														
・不燃積層せっこうボード	G B - N C	9.5 (不燃) ・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバッチ模様)																																																														
・シェンゲン せっこうボード	G B - S	・9.5 (準不燃) ・12.5 (準不燃)																																																														
・強化せっこうボード	G B - F	・12.5 (不燃) ・15.0 (不燃)																																																														
・																																																																
② 折板葺	<table><tr><th colspan="4">(13. 3. 2) (13. 3. 3) (表13. 2. 1)</th></tr><tr><th>形 式</th><th>※重ね形</th><th>・はぜ締め形</th><th>・かん合形</th><th></th></tr><tr><td>形状 (mm)</td><td>山高(170) 山比ツチ(500)</td><td>板厚</td><td>※0.6</td><td>㊦0.8</td></tr><tr><td>耐力による区分</td><td>・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>材 料 (規格等)</td><td>※塗装溶融55%7%ミニム亜鉛合金めつき銅板</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>軒先面戸板</td><td>※有り</td><td>・無し</td><td></td><td></td></tr><tr><td>断熱材</td><td>※有り(種別</td><td>厚 mm)</td><td>㊦無し</td><td></td></tr><tr><td>耐火性能</td><td>※30分耐火</td><td>・無し</td><td></td><td></td></tr></table>	(13. 3. 2) (13. 3. 3) (表13. 2. 1)				形 式	※重ね形	・はぜ締め形	・かん合形		形状 (mm)	山高(170) 山比ツチ(500)	板厚	※0.6	㊦0.8	耐力による区分	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種				材 料 (規格等)	※塗装溶融55%7%ミニム亜鉛合金めつき銅板				軒先面戸板	※有り	・無し			断熱材	※有り(種別	厚 mm)	㊦無し		耐火性能	※30分耐火	・無し			10 建具用金物	マスターキー ※製作する(本) ・製作しない (16. 8. 4) 鍵札数量 ・錠前1組に2枚とする ・錠前1組に 枚とする かぎ箱 市販品 形式 ・30組用 ・60組用 ・120組用	18 積雪表示板	※塩化ビニル製(白)、ステンレス板(10mm)4本詰め、文字入れ共 取付け場所(・図示 ・監督員の指示による) 寸法 180×160×5	⑤ 外壁板金	㊦角波カラー鉄板(カラーガルバリウム鋼板 t=0.4 タテ張り)	⑬ 左官工事	① 床コンクリートの直均し仕上げ	下表以外は標仕表6. 2. 5及び標仕15. 4. 2による (表6. 2. 5) (15. 4. 1) (15. 4. 2)	18 塗装工事	1 素地ごしらえ	せっこうボード面及びその他のボード面の継ぎ目処理工法の場合 (18. 2. 7) (表18. 2. 7) 種別 ※A種 ・B種(施工箇所:) 2 錆止め塗料塗り ・鉄骨等の製作工場 ・工事現場 (18. 3. 3) 3 耐候性塗料塗り 鉄工面耐候性塗料塗りの上塗り塗料 ・1級 ・2級 ・3級 (18. 7. 2) 亜鉛メッキ鋼面耐候性塗料塗りの上塗り塗料 ・1級 ・2級 ・3級 (18. 7. 3) コンクリート面及び押出成形セメント板面耐候性塗料塗りの種別 (18. 7. 4) ・A種 ・B種 ・C種 ※ 塗装工事は、以下のいずれかの施工業者(元請業者又は一時下請業者に限る)による施工とする。 ○ 新潟県内に主たる事業所を置く事業者であり、かつ以下のいずれかの資格を有する者が所属している事業者。なお、当該資格を有する者が本工事の施工に関与することとする。契約後、証する資料の写しを提出し監督員の確認を受けること。 ・建築仕上げ改修施工管理技術者(一財)建築保全センター) ・登録建設塗装基幹技能者(一社)日本塗装工業会) ○ (一社)日本塗装工業会の会員	22 舗装工事	1 盛土に用いる材料 (22. 2. 3) (表3. 2. 1) 2 凍上抑制層の材料 (22. 2. 2) (22. 2. 3) (表22. 2. 1) 砂の粒度試験 ・行方 ・行わない 3 路床安定処理 種 類 ・普通セメント・セメント・7%グラツヤラン種 ・高炉セメントB種 ・生石灰(・特号 ・1号) 添加量 kg/m³(目標CBR ・3以上 ・5以上 ・) 4 路床の試験 支持力比(CBR)試験 ・行方(※乱した土・乱さない土) ・行わない (22. 2. 5) 路床締固め度の試験 ・行方 ・行わない 現場CBR試験 ・行方 ・行わない										
(13. 3. 2) (13. 3. 3) (表13. 2. 1)																																																																
形 式	※重ね形	・はぜ締め形	・かん合形																																																													
形状 (mm)	山高(170) 山比ツチ(500)	板厚	※0.6	㊦0.8																																																												
耐力による区分	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種																																																															
材 料 (規格等)	※塗装溶融55%7%ミニム亜鉛合金めつき銅板																																																															
軒先面戸板	※有り	・無し																																																														
断熱材	※有り(種別	厚 mm)	㊦無し																																																													
耐火性能	※30分耐火	・無し																																																														
③ と い	材 種 ※配管用鋼管 ㊦硬質ポリ塩化ビニル管 (13. 5. 2) (表13. 5. 1) ㊦折板用軒種 鋼管製といの防露 ※標仕表13. 5. 4による 掃除口 ・有り ㊦無し	⑬ 軽量シャッター	開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) (16. 12. 2) 外部に面するシャッターの耐風圧強度 () N/m² (16. 12. 2) スラット (16. 12. 3) (16. 12. 4) (表16. 12. 2)	20 ユニツト及びその他工事	1 排水管 排水管用材料 (21. 2. 1) (表21. 2. 1)	⑬ 金属工事	1 あと施工アンカーの引抜き耐力試験 2 ステンレスの表面仕上げ (14. 2. 1)	2 仕上塗材仕上げ (15. 6. 1)	<table><tr><th>種 類</th><th>色 合 い</th><th>施 工 箇 所</th></tr><tr><td>・BB-1種</td><td>無着色</td><td></td></tr><tr><td>・BB-2種</td><td>・ブラウン系 ・ステンカラー ・ブラック</td><td></td></tr></table>	種 類	色 合 い	施 工 箇 所	・BB-1種	無着色		・BB-2種	・ブラウン系 ・ステンカラー ・ブラック		⑬ ガラス	① ガラス留め材	ガラス留め材 (16. 14. 2) (表9. 7. 1)	21 排水工事	2 排水樹及びふた 排水管用材料 (21. 2. 1) (表21. 2. 1)	⑬ 建具工事	1 見本の製作等 (16. 1. 4) ・見本の製作 (建具番号) ・特殊な建具の仮組等(建具番号) 2 防犯建物部品 (16. 1. 6) ※適用する(適用部品及び適用位置は図示による) 3 7%ミニム製建具 (16. 2. 2) (表16. 2. 1)	2 床コンクリートの直均し仕上げ	防火材料の指定 ※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。 (15. 6. 2)	21 排水工事	2 排水樹及びふた 排水管用材料 (21. 2. 1) (表21. 2. 1)	⑬ 建具工事	2 防犯建物部品 (16. 1. 6) ※適用する(適用部品及び適用位置は図示による) 3 7%ミニム製建具 (16. 2. 2) (表16. 2. 1)	21 排水工事	2 排水樹及びふた 排水管用材料 (21. 2. 1) (表21. 2. 1)	⑬ 建具工事	2 防犯建物部品 (16. 1. 6) ※適用する(適用部品及び適用位置は図示による) 3 7%ミニム製建具 (16. 2. 2) (表16. 2. 1)	21 排水工事	2 排水樹及びふた 排水管用材料 (21. 2. 1) (表21. 2. 1)																											
種 類	色 合 い	施 工 箇 所																																																														
・BB-1種	無着色																																																															
・BB-2種	・ブラウン系 ・ステンカラー ・ブラック																																																															
④ 金 属 工 事	鋼管製といの防露 ※標仕表13. 5. 4による 掃除口 ・有り ㊦無し	⑬ ガラス	下記以外は、建具表による (16. 14. 2) ・合わせガラス 特性による種類 ・I類 ・II-1類 ・II-2類 ・III類 ・強化ガラス 材料板ガラスによる種類 ・フロート強化ガラス ・型板ガラス ・I類 ・III類(曲面はI類) ・複層ガラス 種 類 断熱性、日射遮へい性による区分 ・断熱複層ガラス ・日射熱遮へい複層ガラス ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6 ・G ・S ・熱線吸収板ガラス 材料板ガラスによる種類 特性による種類 色 調 ・熱線吸収フロート板ガラス ・1種 ・ブルー ・グレー ・熱線吸収網入り磨き板ガラス ・2種 ・ブロンズ ・グリーン ・熱線反射ガラス 種 類 材料板ガラスの種類 日射遮へい性 耐久性 ※熱線反射ガラス ・フロート板ガラス ・高性能熱線反射ガラス ・熱線吸収板ガラス ・強化ガラス ・3種 ・A類 ・B類 ・倍強度ガラス 材料板ガラスによる種類の名称 色 調 ※フロート倍強度ガラス ・熱線吸収倍強度ガラス ・グレー ・ブルー ・ブロンズ ・ ○ 図 示 ガラス留め材 (16. 14. 2) (表9. 7. 1)	2																																																												

■設 計 概 要										■ 外部仕上表										■ 断熱・防湿仕様																																																																					
工事名称		健伸館倉庫増築工事								屋根	仕上	ガルバリウム鋼板 折板葺き SSV-2型 t=0.8 H=170 3/100勾配 (破風板・ケラバ 包：同材) オースチルス製タイル・ム オースチルス製ケラバ・タイル・ム				外部建具			アルミサッシュ	断熱材	土間	ポリスチレンフォーム(F)50																																																																			
発 注 者		胎内市									下地	木軸下地					防湿層	土間	ポリエチレンシート(F)0.15																																																																						
建 設 地		胎内市苔実 387-1									雪止金具	雪止金物：L-50×50×6(溶融亜鉛メッキ処理品) バレーガード：折板谷用雪止金具(溶融亜鉛メッキ処理品)							シーリング		建具廻り	MS-2																																																																			
工事種別		新築(増築) 改築・移転・用途変更・大規模の修繕・大規模の模様替・その他()									軒天																																																																														
敷地状況	敷地面積	1,401.53 m ²								雨樋	軒樋	折板用塩ビ製軒樋 ステンレス製樋受け・支持金物@250									■ 防火認定番号	GB-R(石膏ボード) t=9.5 QM-9826 無石棉珪酸カルシウム板 t=6 NM-8574																																																																			
	都市計画区域	(内) (市街化区域：市街化調整区域：(区域区分未設定都市計画区域))・外									縦樋	VP φ100 カラー、ステンレス製支持金具 @900程度					GB-R(石膏ボード) t=12.5 NM-8619 無石棉珪酸カルシウム板 t=10 NM-2773																																																																								
	用途地域	低住・中高・1種住居・準住居・近隣商業・商業・準工業・工業・工業(指定なし)									外壁	木軸下地、防水シート下地、石膏ボード t = 12.5下地 角波カラー鉄板 (カラーガルバリウム鋼板 t = 0.4)					GB-D(化粧石膏ボード) t=9.5 QM-0524 メラミン不燃化粧板 t=3 NM-2183																																																																								
	防火地域	防火地域・準防火地域 (指定なし)															GB-D(押入ボード) t=9.5 QM-9824 外壁：窯業系サイディング t=16 PC030BE-9204(耐火構造認定)																																																																								
面 積	その他の区域	(指定なし)								地覆										GB-S(シーリング石膏ボード) t=9.5 QM-9826 軒裏・FK t=10 突付張(野縁・吊木@45S) QF030RS-0175(準耐火認定)																																																																					
	都市計画道路	有 (無)																		GB-S(シーリング石膏ボード) t=12.5 NM-9639 ■屋根・見切等：塗装溶融55%アルミ亜鉛合メッキ鋼板 NM-86797																																																																					
	指定建ぺい率	70%																		GB-S(ロックウール化粧板吸音板) t=9 NM-8566																																																																					
	指定容積率	200%																		■柱：鉄骨耐火被覆：1時間耐火(耐火率t25以上)FP060CN-9460 ■梁：鉄骨耐火被覆：1時間耐火(耐火率t25以上)FP060BM-9460																																																																					
構 造	建築面積	既存部分	増築部分		合 計		建ぺい率 = 178.55m ² / 1,401.53 m ² = 12.74 %																																																																																		
	延床面積	145.43 m ²	33.12 m ²		178.55 m ²		容積率 = 178.55m ² / 1,401.53 m ² = 12.74 %																																																																																		
	敷地面積	1,401.53 m ²																																																																																							
	主要用途	倉 庫																																																																																							
耐 火 建 築 物	構造	木 造																																																																																							
	階数	平屋建て																																																																																							
	耐火建築物	耐火建築物・準耐火建築物() (なし)																																																																																							
	最高の高さ	m (設計GL+3.211m)																																																																																							
■ 内部仕上表	最高の軒高	m (設計GL+2.830m)																																																																																							
■ 附近見取図										■ 敷地求積図・求積表																																																																															
胎内市役所 地域整備課 新潟県胎内市新和町 2番10号										S=1/400																																																																															
										<table><tr><th colspan="5">敷 地 求 積 表</th></tr><tr><th>番号</th><th>底 辺</th><th>高 さ</th><th>倍 面 積</th><th>面 積</th></tr><tr><td>①</td><td>22.067</td><td>6.958</td><td>153.542186</td><td>76.7710930</td></tr><tr><td>②</td><td>22.067</td><td>9.245</td><td>204.009415</td><td>102.0047075</td></tr><tr><td>③</td><td>51.232</td><td>18.899</td><td>968.233568</td><td>484.1167840</td></tr><tr><td>④</td><td>45.131</td><td>1.000</td><td>45.131000</td><td>22.5655000</td></tr><tr><td>⑤</td><td>51.232</td><td>25.041</td><td>1,282.900512</td><td>641.4502560</td></tr><tr><td>⑥</td><td>28.668</td><td>1.906</td><td>54.641208</td><td>27.3206040</td></tr><tr><td>⑦</td><td>10.101</td><td>2.425</td><td>24.494925</td><td>12.2474625</td></tr><tr><td>⑧</td><td>10.101</td><td>0.969</td><td>9.787869</td><td>4.8939345</td></tr><tr><td>⑨</td><td>25.000</td><td>1.500</td><td>37.50</td><td>18.750</td></tr><tr><td>⑩</td><td>15.287</td><td>1.493</td><td>22.823491</td><td>11.4117455</td></tr><tr><td colspan="4">合 計</td><td>1,401.532087</td></tr><tr><td colspan="4">敷 地 面 積</td><td>1,401.53 m²</td></tr></table>										敷 地 求 積 表					番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積	①	22.067	6.958	153.542186	76.7710930	②	22.067	9.245	204.009415	102.0047075	③	51.232	18.899	968.233568	484.1167840	④	45.131	1.000	45.131000	22.5655000	⑤	51.232	25.041	1,282.900512	641.4502560	⑥	28.668	1.906	54.641208	27.3206040	⑦	10.101	2.425	24.494925	12.2474625	⑧	10.101	0.969	9.787869	4.8939345	⑨	25.000	1.500	37.50	18.750	⑩	15.287	1.493	22.823491	11.4117455	合 計				1,401.532087	敷 地 面 積				1,401.53 m ²
敷 地 求 積 表																																																																																									
番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積																																																																																					
①	22.067	6.958	153.542186	76.7710930																																																																																					
②	22.067	9.245	204.009415	102.0047075																																																																																					
③	51.232	18.899	968.233568	484.1167840																																																																																					
④	45.131	1.000	45.131000	22.5655000																																																																																					
⑤	51.232	25.041	1,282.900512	641.4502560																																																																																					
⑥	28.668	1.906	54.641208	27.3206040																																																																																					
⑦	10.101	2.425	24.494925	12.2474625																																																																																					
⑧	10.101	0.969	9.787869	4.8939345																																																																																					
⑨	25.000	1.500	37.50	18.750																																																																																					
⑩	15.287	1.493	22.823491	11.4117455																																																																																					
合 計				1,401.532087																																																																																					
敷 地 面 積				1,401.53 m ²																																																																																					



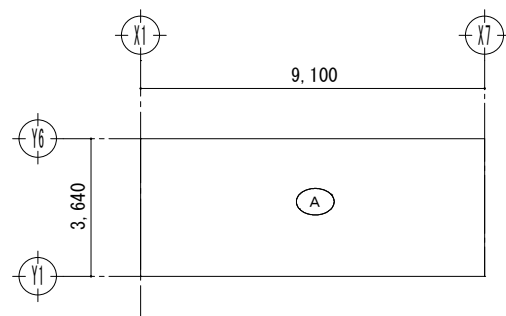
配置図 S=1/200



平面図 S = 1 : 50

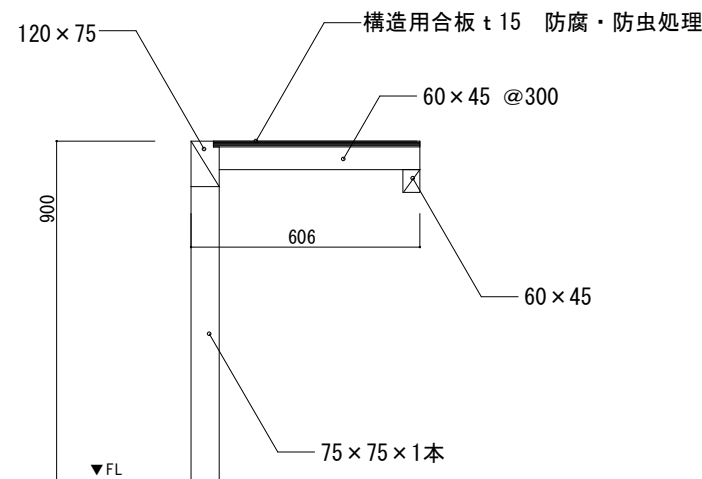
■特記ナキ桁方向の梁成は150

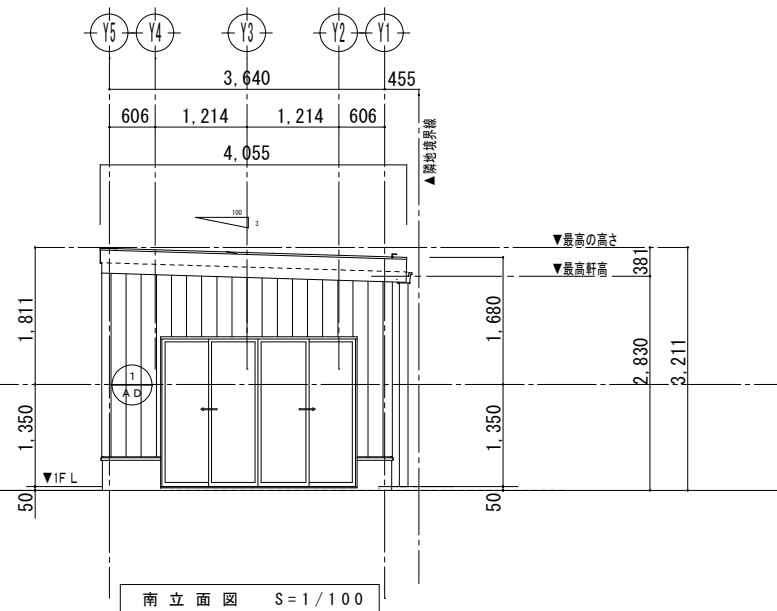
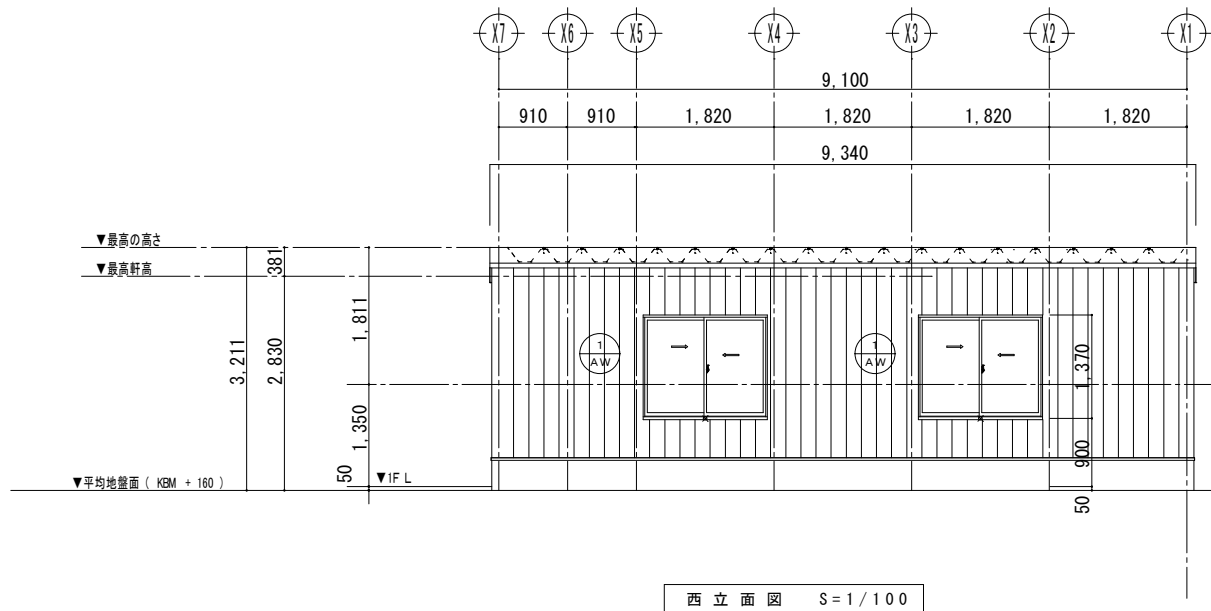
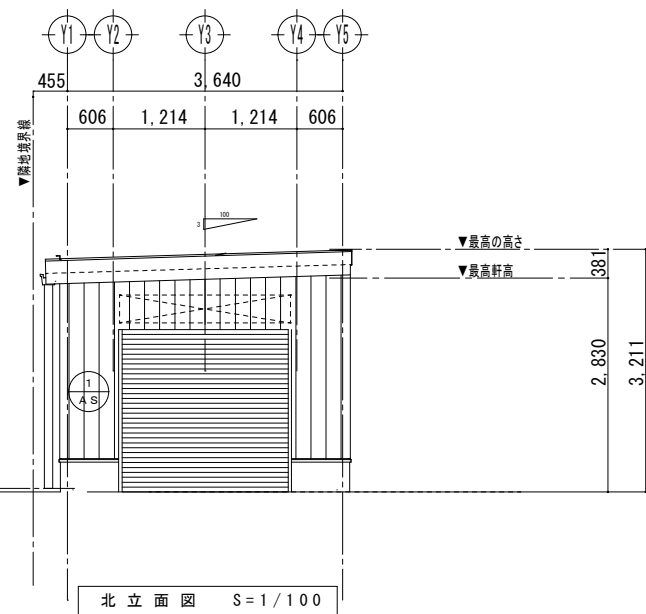
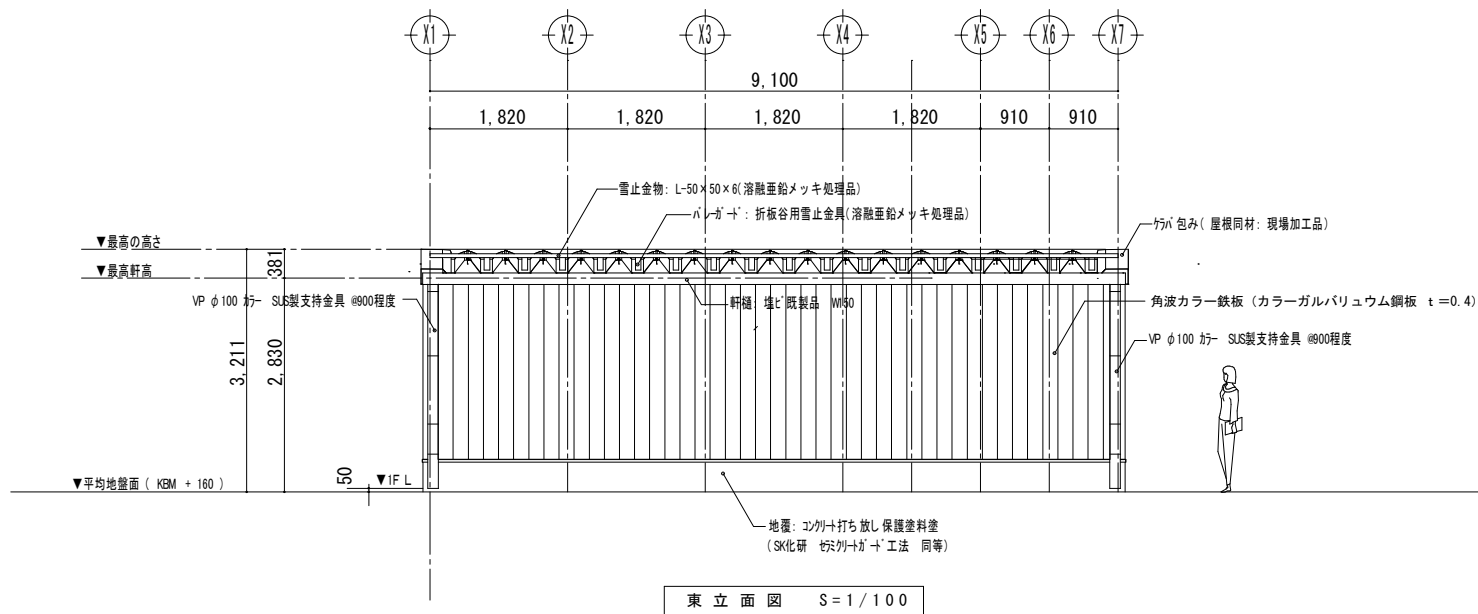
■建物求積図・求積表 S = 1 : 200



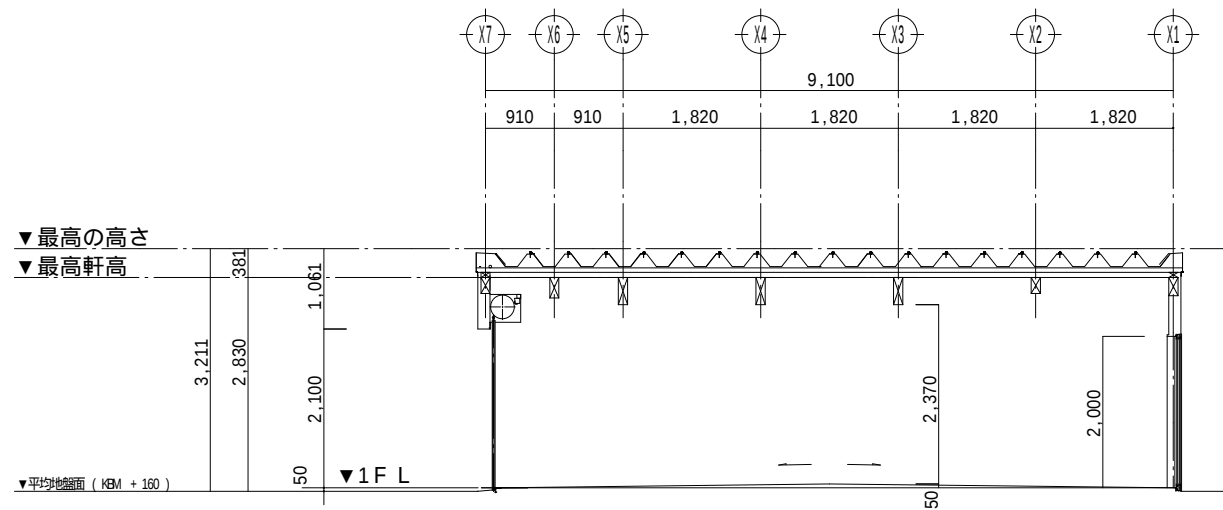
建築物面積表			
階	符 号	縦 × 横	面 積
1階	A	3.64 × 9.10	33.12 m ²
延べ床面積		A	33.12 m ²
建築面積		A	33.12 m ²

■木製棚 L=1,700 詳細図 S = 1 : 20

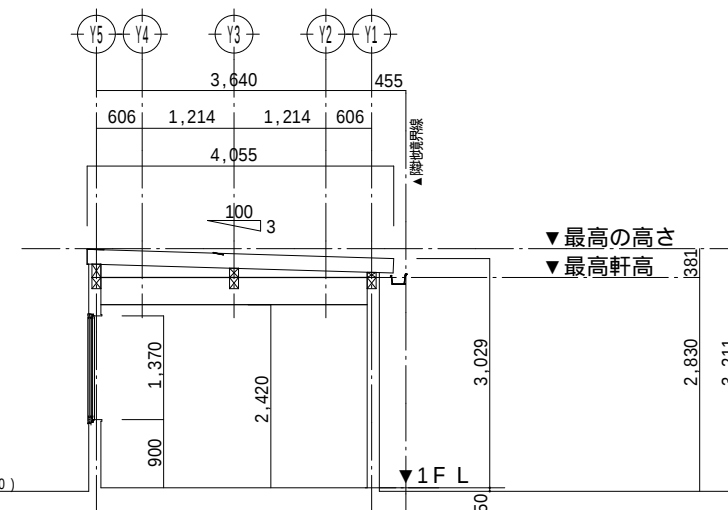




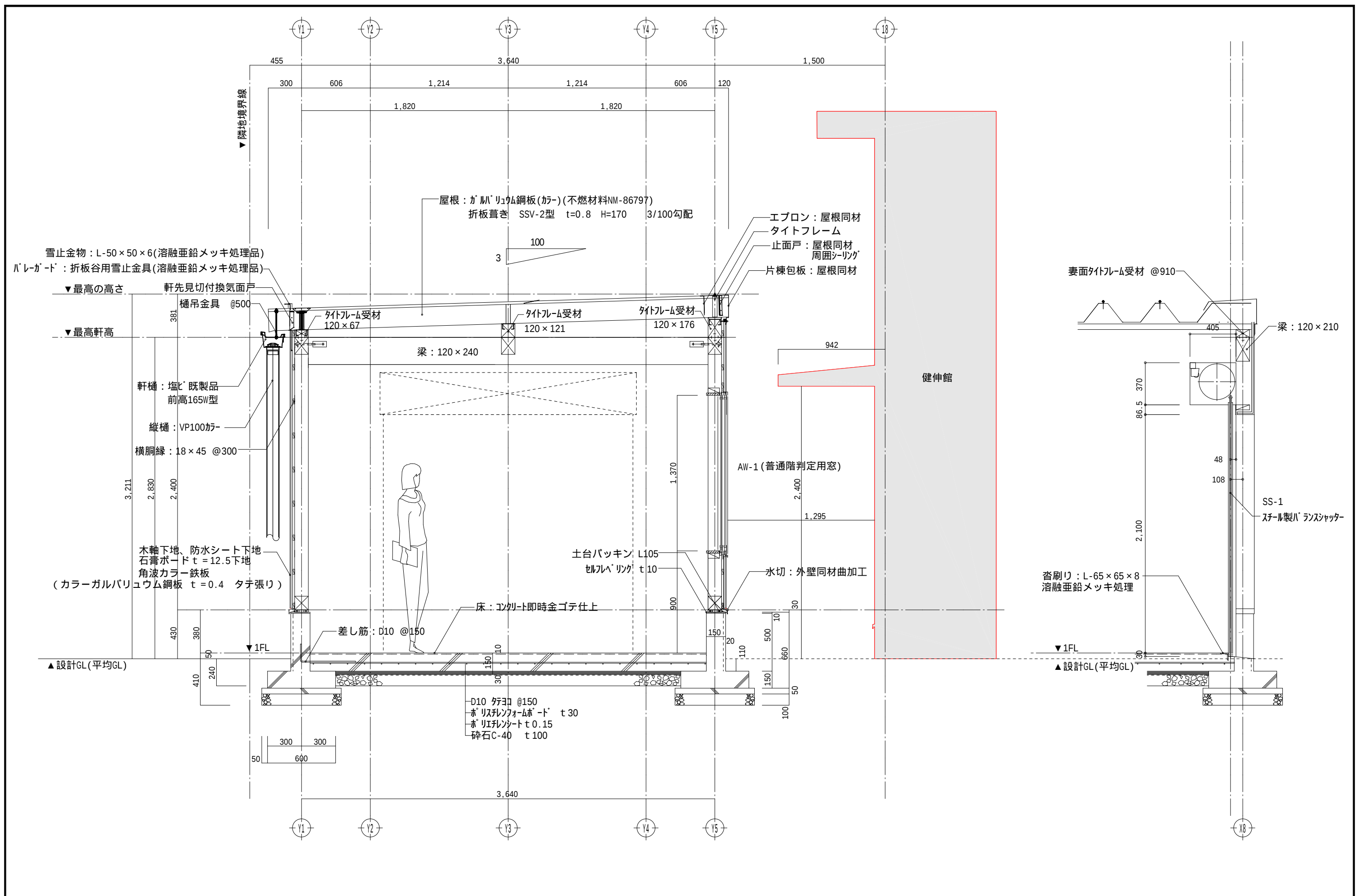
見 付 面 積 表			
1 階	符 号	縦 × 横	面 積
桁方向		1.811 × 10.25	18.57 m ²
妻面方向		(1.811+1.68) × 4.055 × 1/2	7.08 m ²



断面図 - 1 S=1 / 100



断面図 - 2 S=1 / 100

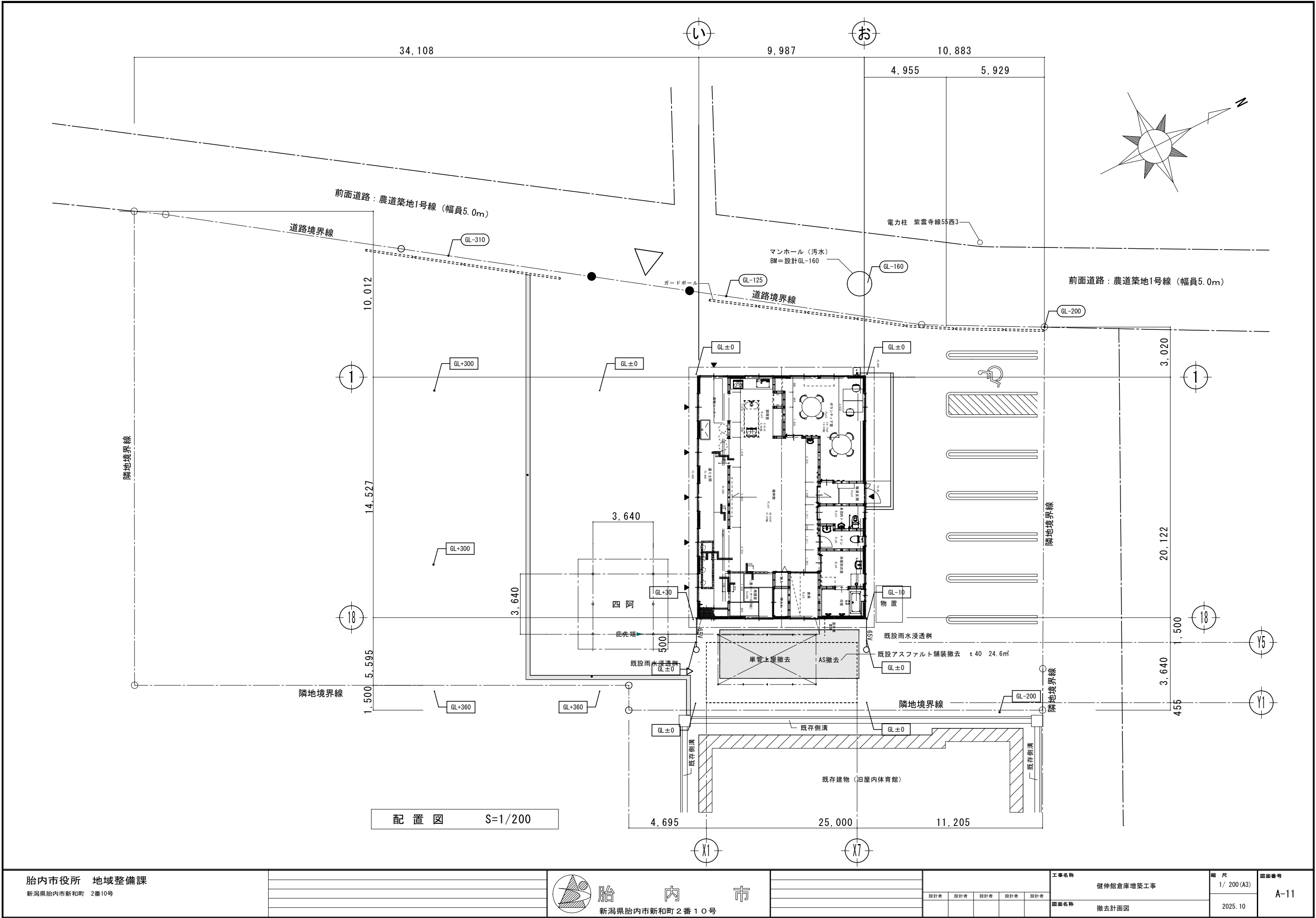


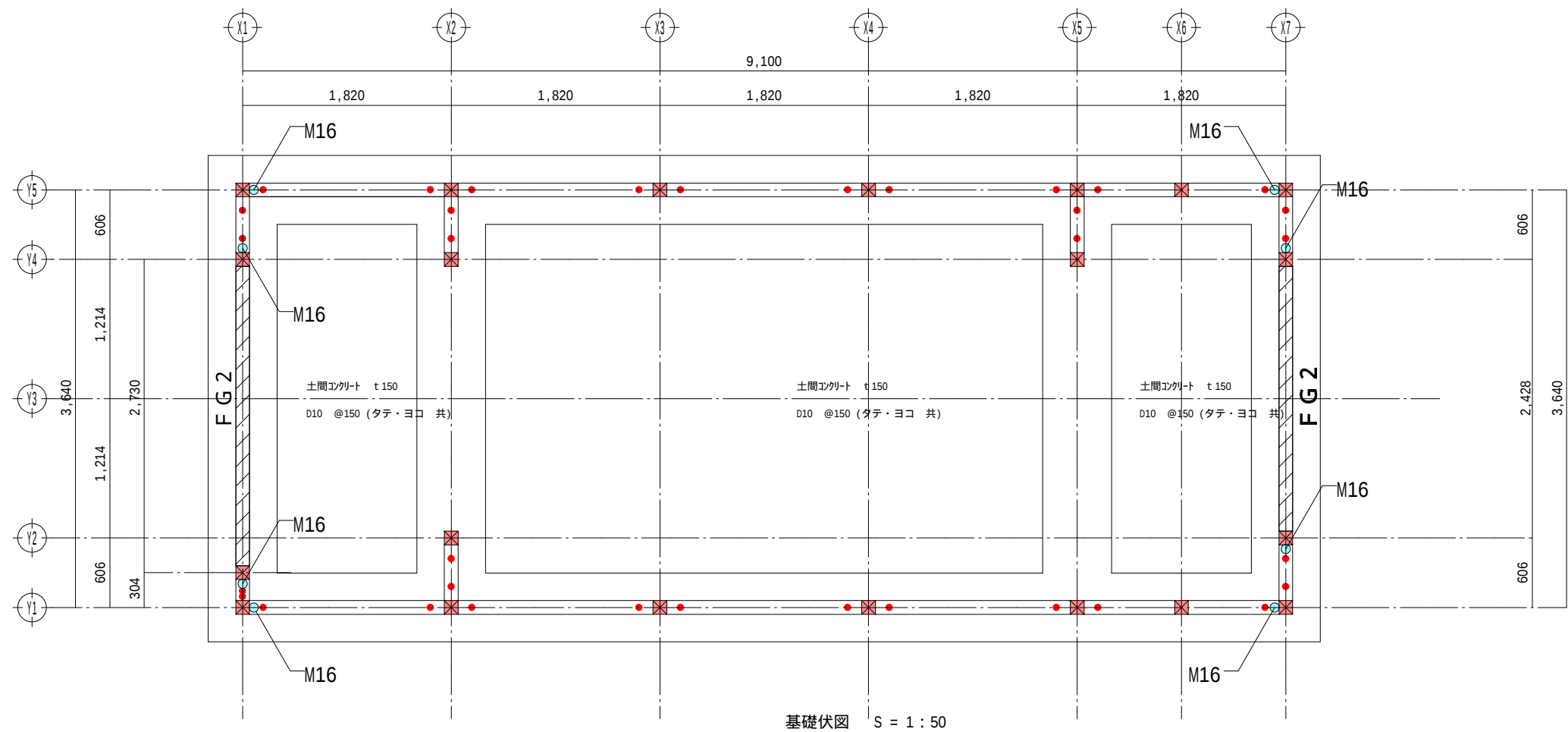
型式記号	A1 片開き戸	A2 ガラス入	A3 ガラリ入	A4 ガラス入 ガラリ付	A5 ガラス入 ガラリ付	A6 框 戸	A7 埋込式 片開き戸	B1 両開き戸	B2 ガラス入	B3 ガラリ付	B4 ガラス入 ガラリ付	B5 ガラス入 ガラリ付	B6 框 戸	B7 埋込式 片開き戸	C1 親子開き戸	C2 ガラス入	C3 ガラリ入	C4 ガラス入 ガラリ付	C5 ガラス入 ガラリ付	E1 引き違い戸
	M1 引き違い窓	M2 片引き窓	M3 はめ殺し窓	M4 片開き窓	M5 タテ軸 回転窓	M6 ヨコ軸 回転窓	M7 縦スベリ 出し窓	M8 突き出し窓	M9 外倒し窓	M10 内倒し窓	M11 片開き窓	N1 ガラリ	S1 シャッター -	S2 シャッター - くり戸付	S3 オール-ステイダー	C6 框 戸	C7 框 戸	D1 片引き戸	E2 引き違い戸	F1 引き分け戸

[illegible][illegible]

消防法上の無窓階チェック									
1 階床面積								33.12	m ²
判定項目	計算式								判定
必要開口面積	33.12m ² × 1/30 = 1.11								
有効開口面積	AW-1 (西面) 1.640 × 1.370 × 1/2 × 2ヶ所 = 2.2468								
合 計	2ヶ所 2.2468								

胎内市役所 地域整備課 新潟県胎内市新和町 2番10号							工事名称	縮尺	図面番号
							健伸館倉庫増築工事	1/ - (A3)	
							図面名称		A-10
							建具表	2025.10	





特 記

特記無き立上り : F G 1

特記無き大通路 : F G 1 A

特記無き立上り巾 : 1 5 0

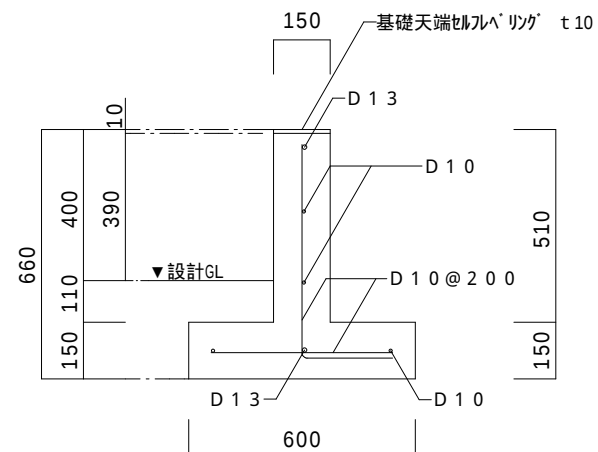
特記無きベース巾 : 6 0 0 (F 1)

地中梁など端部での主筋定着40 d 以上、重ね45 d 以上とする。

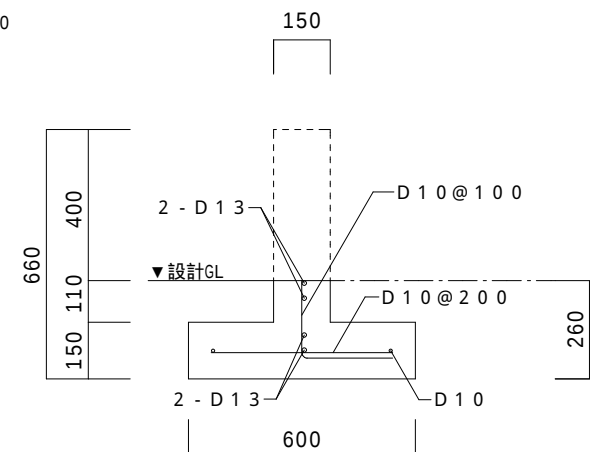
- M12-A-BOLT : 埋込み長さ・・・25cm(柱芯から200mm程度) (土台継手上木側にM12を配置する)
- M16-A-BOLT : 埋込み長さ・・・36cm(柱面から31mm) (金物仕様等によりアソカ芯までの距離に注意する)

■コンクリート・鉄筋

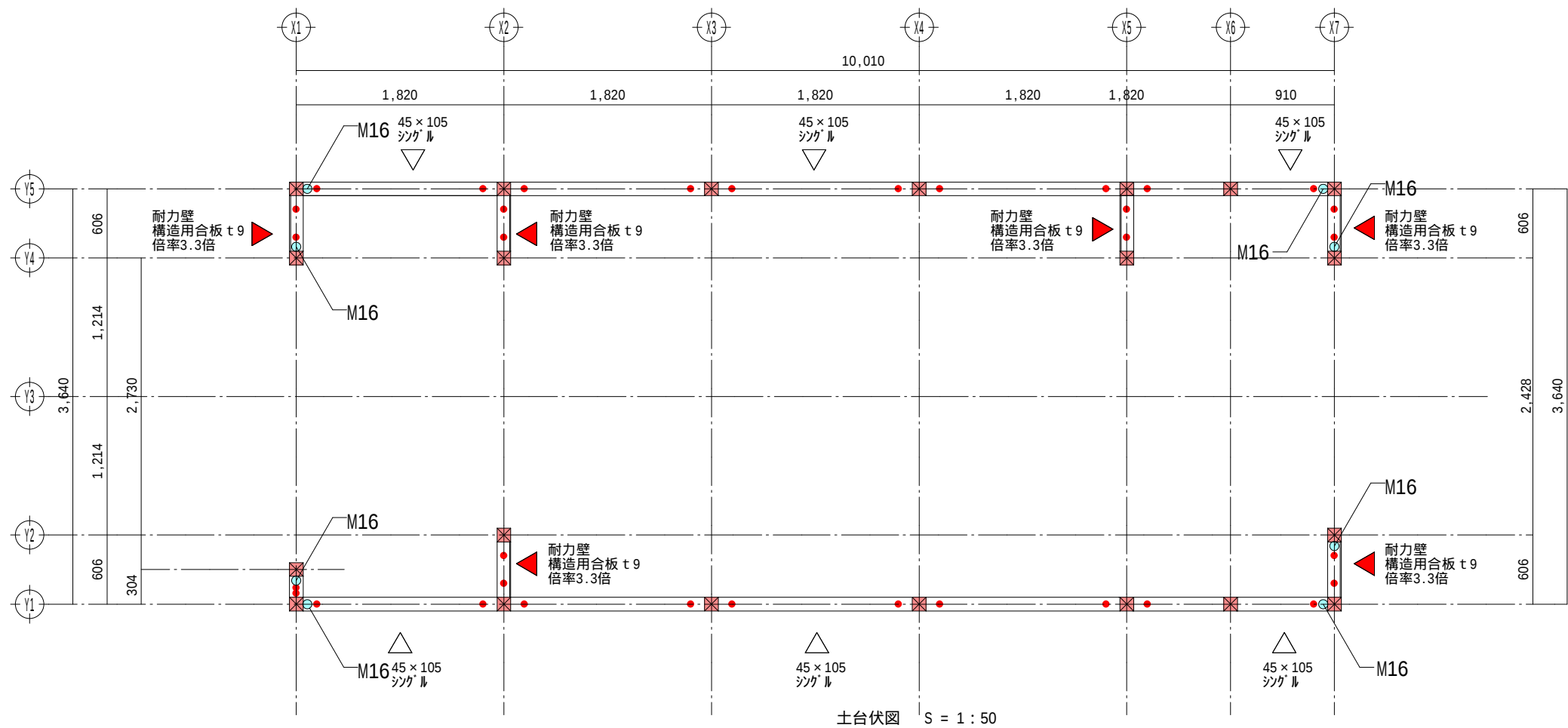
- 設計基準強度 $F_c=21N/mm^2$
- 品質基準強度 設計基準強度 + 3N/mm²
- 呼び強度 品質基準強度 + 温度補正值
- 使用鉄筋 SD295 D 1 0 ~ D 1 3



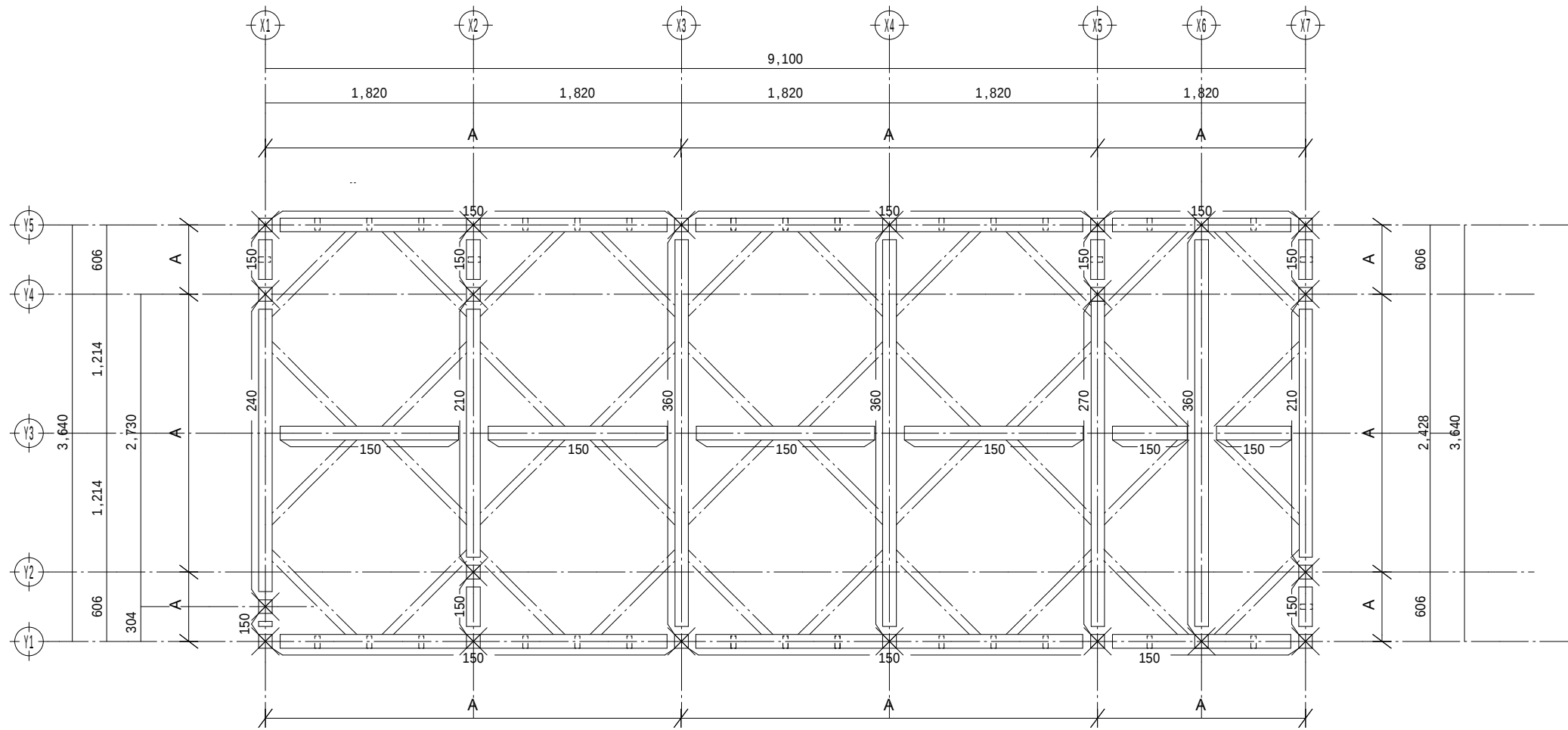
断面詳細図 S=1/20
F G 1



断面詳細図 S=1/20
F G 2



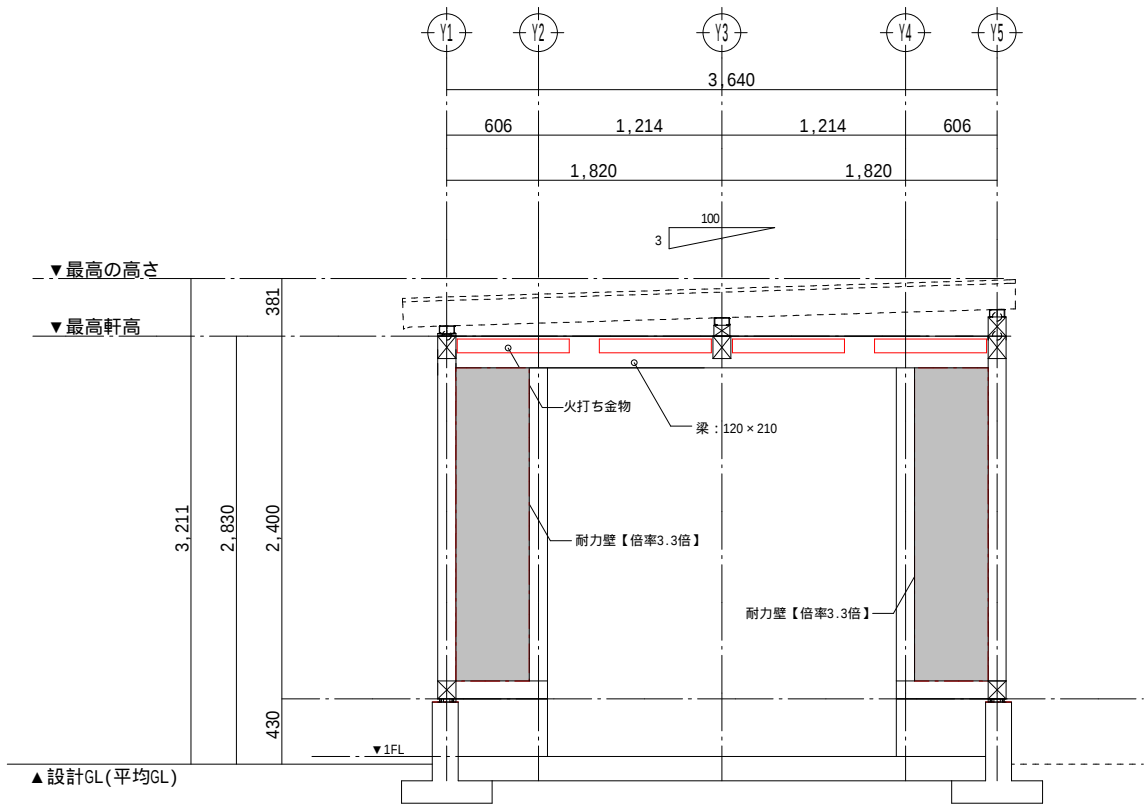
特 記
土台：材種はベイツガ 120角 PGスクエア
筋違い：45×105
構造用合板：t9 【倍率3.3倍】 CN50 @75以下
同上受材：45×45 【倍率3.3倍】 N75 @200以下



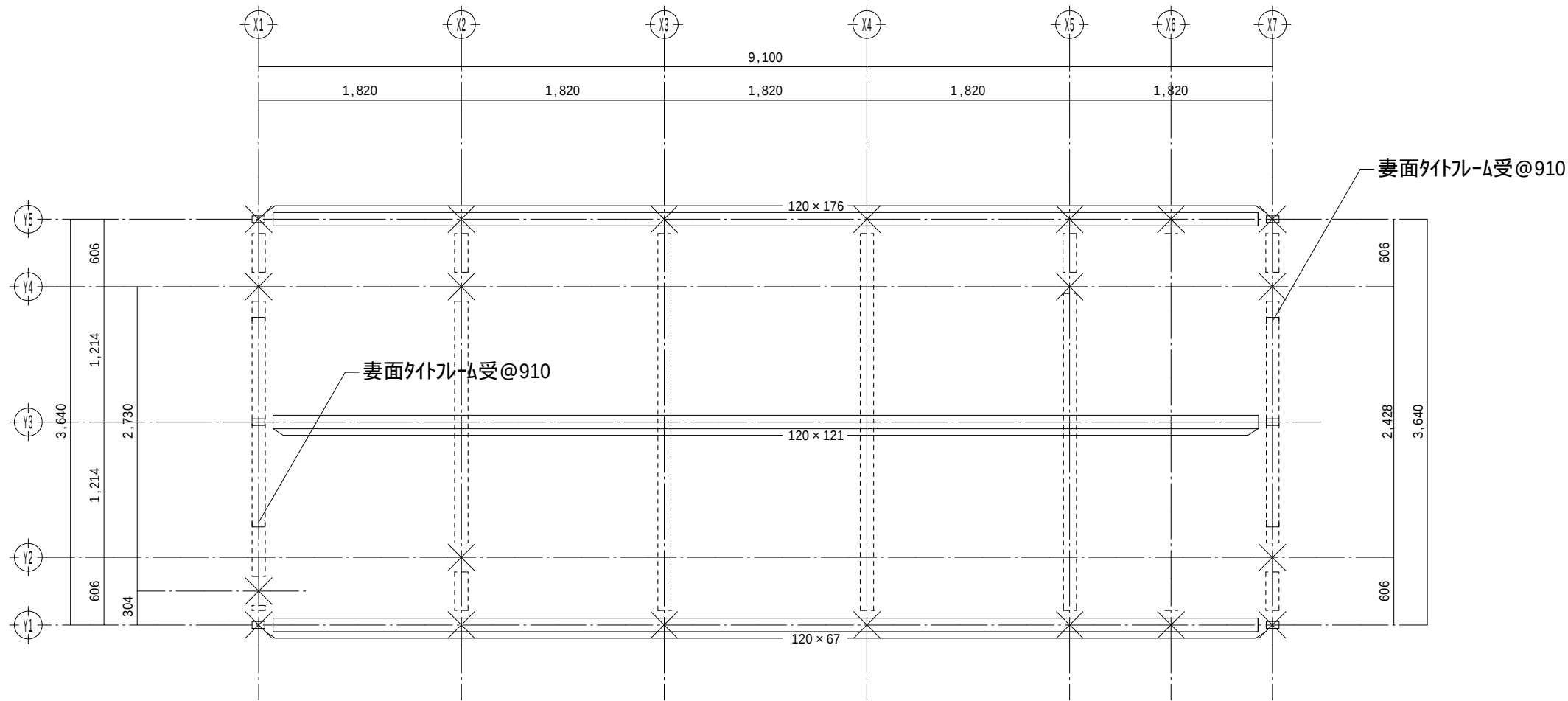
小屋梁伏図 S = 1 : 50

特 記

柱：材種は 杉:120角
間柱：材種は 杉：45×105 @455
梁：材種は 杉:巾=120、（ ）の材種は 米松 とする
A：腰掛け蟻、もしくは、大入れ蟻掛け+羽子板ボルト、又は、短冊金物
====：火打ち金物 × 40ヶ所



X 2 通リ 軸組図 S = 1 : 50

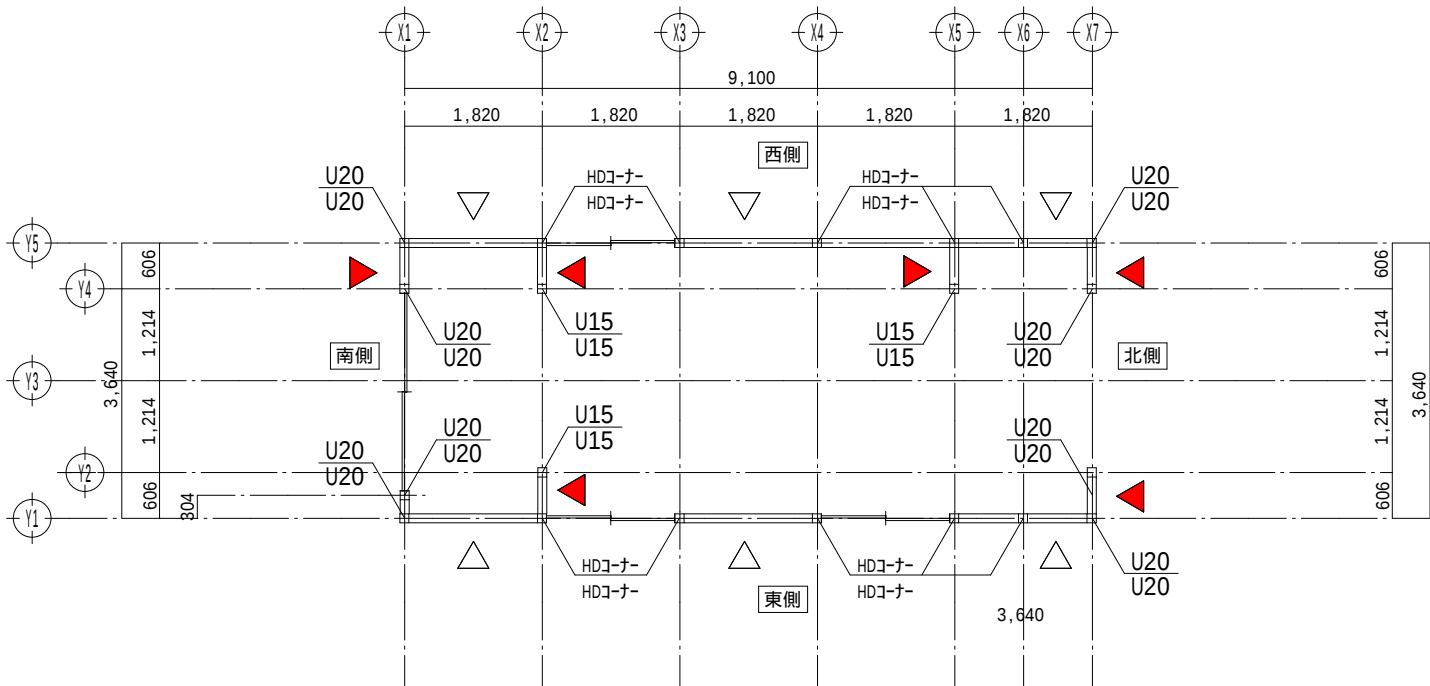


小屋梁伏図 S = 1 : 50

特 記

タイトルム受材：材種は 杉





特 記

金物の表記

	1 階			
	耐力	柱脚	柱頭	合計
: HDコナー	10.000	10	10	20
: U15	15.000	3	3	6
: U20	20.000	8	8	16
: K2		6	6	12

筋かいの種別表記

▶ 耐力壁 構造用合板 t 9 倍率3.3倍

▷ 45 × 105 シングル(外転び)

耐震壁 構造用合板9mm受材真壁仕様

